

鉄道ピクトリアル

2012年7月号 Vol.62 No.7 通巻No.864

<特集> 蒸気機関車

■表紙 最新の復活蒸機 JR東日本C61 20白川 淳
水上 2011-6-5

■グラフ

響煙2012 (1~8ページ)

大野義久・河原慶明・尾崎 渉・高木喜一・森谷正史
森 友紀・吉本 智・今泉博之・富村哲男・白土洋次
金子 聡・木村雅也・神田竜司・浜村正弘・佐藤邦弘

国鉄蒸機終焉の頃 (100~103ページ)

写真: 佐竹保雄・三ッ谷政久・小林 武・浜村正弘

1950年代 東京都内・近郊で見られた蒸気機関車の日常風景

伊藤 昭・伊藤威信... 41

70's 国鉄蒸機 最期の名場面 ...写真: 岡崎義之・早川昭文ほか... 44

長崎発 蒸機特急 ...解説: 飯塚卓治... 48

横浜駅陸橋 使命を終えた内海川跨線人道橋 ...隅田 衷... 50

昭和後期の鉄道情景(6) 東北の電化私鉄 追憶の2社線 ...巴川 享則... 52

D51その一族—1115分の1の素顔—(133) ...構成: 編集部... 54

力尽きた至高の復活蒸機「C62ニセコ号」...写真: 遊川 清ほか... 56

Pictorial Color Gallery 朱とクリームの鉄道風景大野 義久... 97

千葉都市モノレール0形/わたらせ渓谷鐵道WKT-550 104・105
形/京王電鉄7000系の組成替えほか 117

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)106

阪急電鉄のヘッドマーク付き列車 2011年度版成瀬 伸夫...114

さようならはばタン列車佐々木 晶朗...116

タイ国鉄 JR西日本譲渡車の近況今津 直久...118

マレーシア マラヤン・タイガー・トレイン 運転開始斎藤 幹雄...119

■本文

今月の話題: 蒸気機関車編集部... 9

蒸気機関車学オリエンテーション岩成 政和... 10

日本型蒸機の形態学—日本型はどのようにして形成されたか—
堤 轍 郎... 24

回想 米原のD50.....林 嶋... 30

静態保存蒸機の保存維持の取り組み笹田 昌宏... 32

C56 139 再塗装レポート高橋 政士... 57

カマ屋のこぼれ話 昭和のポッポ屋ものがたり松本 正司... 63

戦前・戦後の静岡機関区を中心としたC53の話石津 憲一... 72

昭和46年版 国鉄蒸気機関車主要諸元表78

〔資料 国鉄蒸機データ集作成: 柴田東吾...88〕

東武鉄道伊勢崎線・日光線ダイヤ改正および

「とうきょうスカイツリー駅改称」吉田 一宏... 82

鉄道の話編集部... 87

7月号特別企画

ジャカルタの鉄道を支える鉄道マン構成: 白川 淳...120

書評(580)『高架鉄道と東京駅』和久田康雄...129

千葉都市モノレール0形遠藤 真矢...130

JR北海道733系泉 弘之...134

京阪電気鉄道13000系村上 裕紀...140

名鉄沿線 歴史のある風景 補遺松永 直幸...146

国鉄高性能1M電車の系譜② 121系 近郊形直流電車日向 旭...153

中国で「こだま」に乗った話曾 根 悟...158

タイ国鉄バンコク〜チェンマイ間寝台特急に乗る今津 直久...160

鉄道の情景を絵巻書で伝えた人達(7) 津軽海峡夏景色, 秋げしき
白土 貞夫...164

4月のメモ帳166

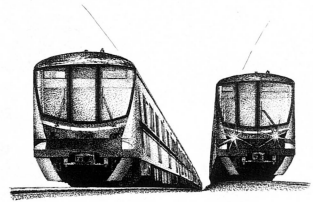
読者短信・情報ファイル167

後部車から171

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット: 山本茂樹

蒸気機関車

今日、長年にわたる技術革新を経て、わが国の鉄道は新幹線を代表とする高速、安全性に優れた高機能的な輸送機関へと進化している。鉄道が初めて開業した1872(明治5)年、英国製の小型蒸気機関車がマッチ箱型の客車を牽いて走っていたのであるから、この140年間にわたる鉄道発展の歴史はまさに目を見張るものがあると、あらためて思う。その鉄道史を振り返るうえで、不可欠な存在が鉄道誕生から100年以上にわたって活躍し、発展の原動力となった蒸気機関車である。明治から大正、昭和へと全国各地の鉄道を駆け抜けた蒸気機関車は技術革新によって消えていったわけであるが、その存在は永遠であり、近年再び脚光を浴びつつ蘇っている。

2008年6月号(No.804)で特集を構成した「SLブーム」を経て、1976(昭和51)年3月、最後まで大換用として残っていた追分区の9600形退役により、国鉄蒸気機関車の幕は閉じた。その一方、蒸気機関車を鉄道の歴史遺産として、また古き鉄道を偲ぶ観光資源として動態保存する動きも生まれていた。1972(昭和47)年には梅小路機関区の扇形庫が蒸機の博物館となり、また大井川鐵道では本線上で本格的な蒸機の復活運転が開始されるなど、蒸気機関車動態保存は次第に活発化した。JR発足以降は各地で蒸機が復活し、社会的にも大きな話題として注目を集めていった。今日ではJR各社の本線運行可能な蒸機は8両に及び、さまざまなイベントなどで活躍しており、さらに民鉄などにおいても動態保存機の所有が多くなった。こうした保存機の維持・管理は多大な経費と労力を要するものであるが、未永い運行を期待するとともに、われわれもその歴史・価値を認識し、広い意味で維持に協力していきたいものである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan